

# セルフボーリング型 孔内水平載荷試験 (SBLLT)



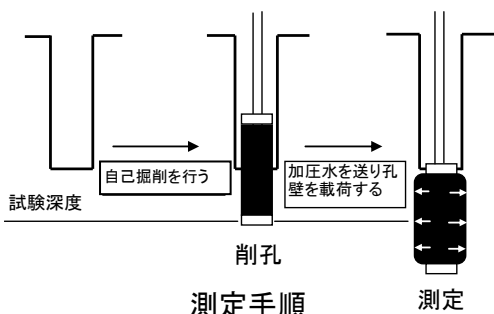
ゾンデ挿入状況



測定状況



反力装置の一例

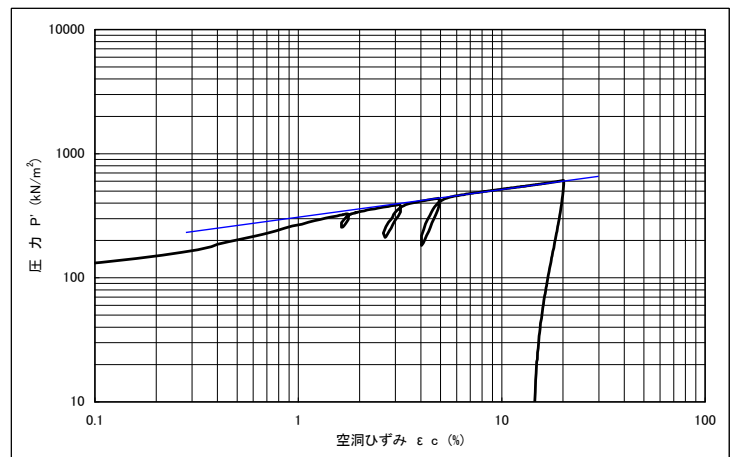
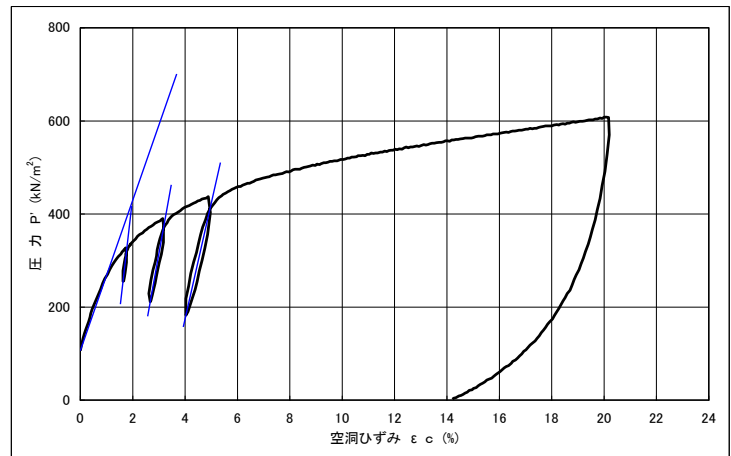


## ●概要

SBLLTは、掘削機能を設けた測定管(ゾンデ)によって試験深さまで自己掘削を行い、そのままの状態で行う孔内水平載荷試験を行う装置です。孔壁の維持が困難な地層および崩壊性の地盤に適しています。

## ●特長

- 自己掘削のため孔壁の乱れを最小限にできます。
- ひずみ制御での載荷方式で載荷速度は任意に設定できます。
- 載荷・除荷モードの切替で繰り返し測定が簡単にできます。
- 測定中に応力を維持しクリープ測定ができます。
- 測定器はタッチパネル式で操作が簡単です。
- 測定データは、プリンターに出力する他メモリーカードに自動収録されます。
- 測定中のデータはリアルタイムにグラフに表示します。



Gi	剛性率 G (kN/m <sup>2</sup> )			せん断ひずみ γ			せん断抵抗角		
	G <sub>UR-1</sub> <sup>C</sup>	G <sub>UR-2</sub> <sup>C</sup>	G <sub>UR-3</sub> <sup>C</sup>	γ <sub>AV1</sub>	γ <sub>AV2</sub>	γ <sub>AV3</sub>	S	Φ° (度)	μ
8080	21676	13518	10680	1.30E-03	5.04E-03	9.17E-03	0.224	21.5	-9.4

解析結果及び解析図 H19-12 (16.5m)

測定結果例